

ファイルサーバー検索システム

Chimera Search (キメラ・サーチ)

インストールガイド 第 1.6 版 (2012-08-28)





Copyright © 2009 オープンソース・ソリューション・テクノロジー(株)

目次

1. はじめに	1
1.1 本書の目的.....	1
1.2 前提条件.....	1
1.3 略語.....	1
2. 構成	2
2.1 システム要件.....	2
2.1.1 ソフトウェア要件.....	2
2.1.2 ハードウェア要件.....	2
2.2 パッケージ構成.....	2
2.2.1 製品パッケージ.....	2
2.2.2 依存パッケージ.....	4
3. インストールと基本設定	6
3.1 RPM パッケージのインストール.....	6
3.2 Apache HTTP サーバーの設定.....	6
3.2.1 専用の Web サーバーサイトでサービスする場合.....	6
3.2.2 既存 Web サーバーサイトのサブディレクトリでサービスする場合.....	7
3.3 ファイルサーバーの設定.....	8
3.3.1 クローラー用ユーザーの作成.....	8
3.3.2 ファイル共有のアクセス権の調整.....	8
3.4 キメラ・サーチの設定.....	9
3.4.1 クローラーの設定.....	9
3.4.2 Web インターフェイスの設定.....	10
4. 追加フィルターコマンド用の設定	12
4.1 富士ゼロックス DocuWorks Text Filter (オプション).....	12
4.2 データ変換研究所 DocCat (オプション).....	12
5. 基本操作	14
5.1 インデックスデータの操作.....	14
5.1.1 ファイル共有の走査 (インデックスの作成・更新).....	14
5.1.2 インデックスデータの削除.....	14
5.1.3 インデックスのサイズの確認.....	14
5.2 ファイルの検索.....	15
5.3 インデックスサーバーの操作.....	15

5.3.1 サービスの起動・停止・状態表示.....	15
5.3.2 インデックスデータベースの管理.....	15
6. 更新履歴	17

1.はじめに

1.1 本書の目的

本文書は、弊社提供のキメラ・サーチソフトウェアパッケージのインストールと初期設定を実施するための手順書です。キメラサーチのインストールやアップデートの際には、必ず本文書の内容を確認してから作業を実施してください。

本文書に関する記載内容について疑問点等がある場合には、弊社サポート窓口までお問い合わせください。

1.2 前提条件

本書は、特に指示がない限り、以下のような条件を前提に記述しています。これと異なる場合は、適宜内容を読み替えるか、必要な作業を別途実施してください。

- 作業者が OS と関連ソフトウェアの管理や操作手順についての一般的な知識を有すること。
- OS と関連ソフトウェアの基本設定が適切になされていること。
- OS のセキュア OS 機能 (SELinux 等) やファイアウォール機能を無効にすること。
- 管理ユーザー root のシェル端末で作業すること。(作業ユーザーを指定している場合を除く)
- 環境変数 PATH を次のように設定すること:

```
# PATH="/opt/osstech/sbin:/opt/osstech/bin:/usr/sbin:/usr/bin:/sbin:/bin"
# export PATH
```

- OSSTech 製品パッケージファイル群をインストール対象 OS 環境の /opt/osstech-work ディレクトリ以下にコピーしておくこと。

1.3 略語

本書では必要に応じて以下のような略語を用います。

- 「Red Hat Enterprise Linux」を「RHEL」と表記します。

2. 構成

2.1 システム要件

2.1.1 ソフトウェア要件

以下のいずれかの OS 環境が必要です。いずれの OS も、最新のパッチを適用することを推奨します。

- Red Hat Enterprise Linux 5/6 (x86-64)
- CentOS 5/6 (x86-64)
- MIRACLE LINUX V5 (x86-64)
- Solaris 10 (i386/x86-64, SPARC)

2.1.2 ハードウェア要件

ソフトウェア要件に記載の OS が動作する以下のハードウェア環境が必要です。

CPU: Intel Xeon 1.6GHz 以上あるいは互換 CPU
(Intel Xeon 3000/5000 2GHz 以上、SMP または 2 コア以上推奨)

Sun UltraSPARC II 1GHz 以上あるいは互換 CPU
(Sun UltraSPARC III 1.6GHz 以上、SMP または 2 コア以上推奨)

メモリ: 4GB 以上 (16GB 以上推奨。検索対象ファイル数等に依存)

ディスク: ソフトウェア: /opt/osstech 1GB 以上

データ: /var/opt/osstech 5GB 以上 (検索対象ファイル数等に依存)

2.2 パッケージ構成

2.2.1 製品パッケージ

キメラ・サーチと関連パッケージのファイル名一覧は以下の通りです。

ファイル名のうち、「OS」には OS の略称とメジャーバージョン番号、「arch」にはアーキテクチャ名が入ります。CentOS と MIRACLE LINUX のパッケージは RHEL と共通です。Solaris 用パッケージも RPM 形式での提供となります。

- OSSTech ソフトウェア製品基本パッケージ
 - osstech-base-3.0-81.0*S.noarch.rpm*
 - osstech-support-3.0-81.0*S.noarch.rpm*
 - osstech-daemontools-1.03-40.0*S.arch.rpm*
 - osstech-cronie-1.2-11.0*S.arch.rpm* (Solaris 10)
 - osstech-logrotate-3.7.7-5.1.0*S.arch.rpm* (Solaris 10)
- ファイルサーバー検索システム: キメラ・サーチ
 - osstech-chimera-0.10.14-16.0*S.noarch.rpm*
 - osstech-chimera-all-0.10.14-16.0*S.noarch.rpm*
 - osstech-chimera-fastcgi-0.10.14-16.0*S.noarch.rpm*
 - osstech-chimera-filter-commands-0.10.14-16.0*S.noarch.rpm*
- アプリケーション実行環境: Ruby と Ruby on Rails
 - osstech-ruby-1.8.7.334-9.0*S.arch.rpm*
 - osstech-ruby-irb-1.8.7.334-9.0*S.arch.rpm*
 - osstech-ruby-libs-1.8.7.334-9.0*S.arch.rpm*
 - osstech-ruby-rdoc-1.8.7.334-9.0*S.arch.rpm*
 - osstech-ruby-ri-1.8.7.334-9.0*S.arch.rpm*
 - osstech-ruby-gettext-package-1.92.0-1.2.0*S.noarch.rpm*
 - osstech-rubygems-1.3.6-3.1.0*S.noarch.rpm*
 - osstech-rails2.1-2.1.1-2.0*S.noarch.rpm*
 - osstech-rake-0.8.7-1.0*S.noarch.rpm*
- SMB/CIFS クライアント環境: Samba
 - osstech-samba-client-3.5.13-40.0*S.arch.rpm*
 - osstech-samba-common-3.5.13-0.40.0*S.arch.rpm*

- osstech-libsmbclient-3.2.15-0.94.OS.arch.rpm
- osstech-libwbclient-3.2.15-0.94.OS.arch.rpm
- osstech-libtalloc-1.2.0-94.OS.arch.rpm
- osstech-libtdb-1.1.1-94.OS.arch.rpm
- osstech-libiconv-1.10-15.OS.arch.rpm
- osstech-ruby-smb-0.0.3.3-3.OS.arch.rpm
- インデックスサーバー: Hyper Estrailer
 - osstech-hyperestraier-1.4.13-29.OS.arch.rpm
 - osstech-ruby-hyperestraier-1.4.13-29.OS.arch.rpm
 - osstech-qdbm-1.8.77-8.OS.arch.rpm
- インデックス作成用外部フィルターコマンド
 - osstech-wv-1.2.9-5.OS.arch.rpm
 - osstech-xlhtml-0.5.1-0.2.OS.arch.rpm
 - osstech-poppler-0.10.6-0.4.OS.arch.rpm (Solaris 10 以前)
 - osstech-poppler-utils-0.10.6-0.4.OS.arch.rpm (Solaris 10 以前)
 - osstech-glib2-2.12.3-2.1.OS.arch.rpm (Solaris 10 以前)
 - osstech-libgsf-1.14.7-3.1.OS.arch.rpm (Solaris 10 以前)
- Web インターフェイス実行環境: Apache2
 - osstech-fcgi-2.4.0-5.OS.arch.rpm
 - osstech-mod_fcgid-2.2-4.2.OS.arch.rpm
 - osstech-ruby-fcgi-0.8.7-4q.OS.arch.rpm

|| 2.2.2 依存パッケージ

キメラ・サーチが依存する OS 付属のパッケージは以下の通りです。これら以外にも間接的に依存しているパッケージが必要になる場合があります。

- 基本パッケージ
 - ksh
 - logrotate (Solaris 10 以外)
 - vixie-cron または cronic (Solaris 10 以外)
- アプリケーション実行環境: Ruby と Ruby on Rails
 - compat-readline5
- SMB/CIFS クライアント環境: Samba
 - pkgconfig
- インデックス作成用外部フィルターコマンド
 - poppler
 - unzip
 - csh
 - perl-CGI
 - fontconfig
 - libjpeg
 - libpng
 - libgsf
 - glib2 (RHEL5 以降)
 - libgsf (RHEL5 以降)
- Web インターフェイス実行環境: Apache2
 - httpd

3. インストールと基本設定

3.1 RPM パッケージのインストール

RPM パッケージ一式を rpm コマンドでインストールします。パッケージの依存関係の問題でエラーとなる場合は、別途必要なパッケージをインストール後、再試行してください。

パッケージのインストール

```
# rpm -Uv /tmp/chimera/*.rpm
```

インストールが完了すると、以下のような状態になります。

- インデックスサーバー (Hyper Estraier) の設定と起動
- キメラ・サーチの以下に関する設定:
 - インデックスサーバーの設定
 - タスクスケジューラー (cron) によるファイル共有走査等の自動実行の設定

以下については続けて設定を行いません。

- Web サーバー (Apache) の設定
- キメラ・サーチの以下に関する設定:
 - 検索対象のファイル共有とアクセス用ユーザーの設定
 - 認証用サーバーの設定

3.2 Apache HTTP サーバーの設定

キメラ・サーチの Web インターフェイス用の設定を Apache HTTP サーバー設定に追加します。Apache の設定ファイルの場所は、RHEL などの Linux 系 OS では /etc/httpd/conf/httpd.conf、Solaris では /etc/apache2/httpd.conf となります。以下、サーバーの基本設定は実施済みであることを前提とします。

3.2.1 専用の Web サーバーサイトでサービスする場合

キメラ・サーチの Web インターフェイスを専用の Web サーバー URI (例: <http://chimera.example.jp/>) で提供する場合は、Apache のサーバー設定ファイルに以下の設定を追加します。

Apache 設定例： 仮想サーバー機能を利用しない場合

```
Include /opt/osstech/etc/apache2/conf.d/fcgid.conf
Include /opt/osstech/etc/apache2/conf/chimera-docroot.conf
```

仮想サーバー機能を利用している場合は、上記の代わりに、〈VirtualHost〉ブロックの外に fcgid.conf の設定を、〈VirtualHost〉ブロックの中に chimera-docroot.conf の設定を追加します。

Apache 設定例： 仮想サーバー機能を利用する場合

```
Include /opt/osstech/etc/apache2/conf.d/fcgid.conf
<VirtualHost *:80>
    ServerName chimera.example.jp
    ...必要に応じてそのほかの設定を記述...
    Include /opt/osstech/etc/apache2/conf/chimera-docroot.conf
</VirtualHost>
```

設定後、サーバープロセスに変更を反映します。

Apache サーバープロセスへの設定変更の反映**Linux 系 OS の場合**

```
# service httpd restart
```

Solaris の場合

```
# svcadm restart apache2
```

3.2.2 既存 Web サーバーサイトのサブディレクトリでサービスする場合

キメラ・サーチの Web インターフェイスを既存 Web サーバー URI のサブディレクトリ(例: http://www.example.jp/chimera/) で提供する場合は、Apache のサーバー設定ファイルに以下の設定を追加します。

Apache 設定例： 仮想サーバー機能を利用しない場合

```
Include /opt/osstech/etc/apache2/conf.d/fcgid.conf
Include /opt/osstech/etc/apache2/conf/chimera-subdir.conf
```

仮想サーバー機能を利用している場合は、上記の代わりに、〈VirtualHost〉ブロックの外に fcgid.conf の設定を、〈VirtualHost〉ブロックの中に chimera-subdir.conf の設定を追加します。

Apache 設定例： 仮想サーバー機能を利用する場合

```
Include /opt/osstech/etc/apache2/conf.d/fcgid.conf
<VirtualHost *:80>
    ServerName www.example.jp
    DocumentRoot /var/www
    ...必要に応じてそのほかの設定を記述...
    Include /opt/osstech/etc/apache2/conf/chimera-subdir.conf
```

```
</VirtualHost>
```

設定後、サーバープロセスに変更を反映します。

Apache サーバープロセスへの設定変更の反映

Linux 系 OS の場合

```
# service httpd restart
```

Solaris の場合

```
# svcadm restart apache2
```

3.3 ファイルサーバーの設定

3.3.1 クローラー用ユーザーの作成

クローラーとは、ファイルサーバー上のファイル共有を走査し、検索対象のファイルのテキストデータの抽出とインデックスサーバーへのデータ登録を実行するプログラムのことです。

キメラ・サーチのクローラーがファイル共有にアクセスするためのユーザー（例：chimera-search）を、任意の手順でファイルサーバー上に作成してください。

以下にファイルサーバーが Samba と smbldap-tools で構成されている場合のユーザー作成の手順例を示します。ここでは、chimera-search というユーザーを割り当てます。ユーザーに割り当てたパスワードは、後のクローラーの設定で用います。

クローラー用ユーザー追加手順例：Samba + smbldap-tools 環境の場合

```
# smbldap-useradd -a chimera-search
# smbldap-passwd chimera-search
Changing UNIX and samba passwords for chimera-search
New password: 割り当てるパスワードを入力
Retype new password: 割り当てるパスワードを入力
```

3.3.2 ファイル共有のアクセス権の調整

キメラ・サーチのクローラーが検索対象のファイル共有にアクセスできるようにするため、任意の手順でファイル共有のアクセス権を調整してください。

以下にファイルサーバーが Samba で構成されている場合のファイル共有の設定例（smb.conf）を示します。例の通り、読み出しアクセス権のみが必要であり、書き込みアクセス権は不要です。

クローラー用ユーザーへの共有アクセス権設定例：Samba 環境の場合（smb.conf）

```
[share]
path = /srv/share
```

```
read only = yes
valid users = chimera-search, +staff
```

3.4 キメラ・サーチの設定

3.4.1 クローラーの設定

クローラーの設定ファイル `/opt/osstech/etc/chimera/crawler.conf` 内の以下のパラメーターを設定します。通常は、下記に挙げたパラメーター以外の設定は変更しないでください。

必須の設定

- `target-user` = ユーザー名
 - 検索対象のファイル共有にアクセスするためのユーザーの名前を指定します。
 - ユーザーの NT ドメインを明示したい場合は「ドメイン名\ユーザー名」の形式で指定します。
- `target-password` = パスワード
 - `target-user` に指定したユーザーのパスワードを指定します。
- `target-uris` = ファイル共有 URI
 - 検索対象のファイル共有を「`smb://サーバー名/共有名`」の形式で列挙します。
 - `target-user` パラメーターで指定したユーザーとは別のユーザーでファイル共有にアクセスしたい場合は「`smb://ユーザー名:パスワード@サーバー名/共有名`」、さらにユーザーの NT ドメイン名も明示したい場合は「`smb://ドメイン名;ユーザー名:パスワード@サーバー名/共有名`」の形式で指定します。

以下に設定例を示します。

クローラーの必須設定例 (`crawler.conf`)

```
target-user = chimera-search
target-password = パスワード
target-uris =
    smb://central/projects
    smb://central/misc
    smb://guest:password@central/public
    smb://development/sources
...上記以外のパラメーターは省略...
```

検索対象からの除外設定

target-uris パラメーターで指定した検索対象のファイル共有パスから特定のパス、ディレクトリ、ファイルを除外したい場合は、以下のパラメーターを利用してください。

- exclude-uris = ファイル共有 URI パターン
 - 検索対象から除外したいファイル共有パスを列挙します。
- exclude-directories = ディレクトリ名パターン
 - 検索対象から除外したいディレクトリの名前を列挙します。
- exclude-files = ファイル名パターン
 - 検索対象から除外したいファイルの名前を列挙します。

パターンには、「*」や「?」などの各種のワイルドカード文字が使用可能です。パターン中の英文字（半角）の大文字・小文字は同一視されます。

以下に設定例を示します。

クローラーの検索対象からの除外設定例 (crawler.conf)

```
exclude-uris =  
    smb://central/projects/staff  
    smb://central/project/old  
exclude-directories = .trashbox tmp *.tmp  
exclude-files = secret* password* *秘*  
... 上記以外のパラメーターは省略...
```

3.4.2 Web インターフェイスの設定

Web インターフェイスでは、クローラーがインデックス化したファイルの検索サービスを提供します。Web インターフェイスの設定ファイルは /opt/osstech/etc/chimera/search.conf です。通常は、以下に挙げたパラメーター以外の設定は変更しないでください。

- auth-uri = 認証サーバー URI
 - Web インターフェイスを利用するユーザーを認証するための Windows /Samba サーバーを「smb://サーバー名/」の形式で指定します。
 - 通常はドメインコントローラーか検索対象のファイル共有があるファイルサーバーを指定します。

以下に設定例を示します。

Web インターフェイスの設定例 (search.conf)

```
auth-uri = smb://domaincontroller/
```

...上記以外のパラメーターは省略...

4.追加フィルターコマンド用の設定

4.1 富士ゼロックス DocuWorks Text Filter (オプション)

富士ゼロックスの無償製品 DocuWorks Text Filter をインストールすると、キメラ・サーチのクローラーが DocuWorks ファイル (*.xdw, *.xbd) を検索対象に加えることができます。DocuWorks Text Filter については富士ゼロックスの DocuWorks の製品情報をご参照ください。

<http://www.fujixerox.co.jp/soft/docuworks/>

キメラ・サーチのクローラーは DocuWorks Text Filter 付属の xdw2text コマンドを利用します。クローラーの設定ファイル /opt/osstech/etc/chimera/crawler.conf 内に、次のように記述して xdw2text コマンドへのパスを追加設定します。

クローラーの設定ファイルに xdw2text コマンドへのパス設定を追加 (crawler.conf)

```
xdw2text-command = /usr/local/bin/xdw2text
```

4.2 データ変換研究所 DocCat (オプション)

データ変換研究所の有償製品 DocCat をインストールすると、キメラ・サーチのクローラーが以下の形式のファイルを検索対象に加えることができます。

- マイクロソフトオフィス 2007 (Open XML 形式)
 - MS Word ファイル (*.docx)
 - MS Excel ファイル (*.xlsx)
 - MS PowerPoint ファイル (*.pptx)
- ジャストシステム 一太郎ファイル (*.jaw, *.jbw, *.jfw, *.jtd)
- ロータス WordPro ファイル (*.lwp)
- 富士通 OASYS ファイル (*.oa2, *.oa3)
- RTF ファイル (*.rtf)
- XPS ファイル (*.xps)
- XML ファイル (*.xml)

DocCat の詳細についてはデータ変換研究所の DocCat の製品情報をご参照ください。

<http://www.dehenken.co.jp/>

キメラ・サーチのクローラーは DocCat 付属の doccat コマンドを利用します。クローラーの設定ファイル /opt/osstech/etc/chimera/crawler.conf 内に、次のように記述して doccat コマンドへのパスを追加設定します。

クローラーの設定ファイルに doccat コマンドへのパス設定を追加 (crawler.conf)

```
doccat-command = /usr/local/bin/doccat
```

5. 基本操作

5.1 インデックスデータの操作

インデックス関連の操作手順を紹介します。

5.1.1 ファイル共有の走査 (インデックスの作成・更新)

検索対象に設定したファイル共有の走査はタスクスケジューラー (cron) により毎日深夜に自動的に実行されます。このため通常は手動で実行する必要ありませんが、初期設定直後や動作確認のために任意に実行することも可能です。

ファイル共有上の新規作成/変更されたファイルのデータをインデックスに追加

```
# chimera-crawler --check-updated
```

ファイル共有から削除されたファイルのデータをインデックスから削除

```
# chimera-crawler --check-removed
```

5.1.2 インデックスデータの削除

クローラーの設定ファイルの `target-uris` パラメーターから削除したファイル共有のインデックスデータは、自動的に削除されません。同パラメーターからファイル共有を削除した場合は、次のようにして手動でインデックスから削除する必要があります。

指定したファイル共有のファイルのデータをインデックスから削除

```
# chimera-crawler --remove-uri smb://サーバー名/共有名
```

同様に、クローラーの設定ファイルの `exclude-uris`, `exclude-directories`, `exclude-files` パラメーターに指定したファイルのインデックスデータは、自動的に削除されません。同パラメーターに除外ファイルを追加した場合は、次のようにして手動でインデックスから削除する必要があります。

`exclude-*` パラメーターで除外したファイルのデータをインデックスから削除

```
# chimera-crawler --remove-excluded
```

5.1.3 インデックスのサイズの確認

次のようにしてインデックスのサイズ等を表示することができます。

インデックスのサイズと登録ファイル数/語数の表示

```
# chimera-crawler -list-index
```

NAME	LABEL	SIZE	FILES	WORDS	CACHE%
------	-------	------	-------	-------	--------

chimera	chimera	5321169536	160894	18353769	0
---------	---------	------------	--------	----------	---

5.2 ファイルの検索

キメラ・サーチの Web インターフェイスを設定した Apache HTTP サーバーの URI にアクセスすると、キメラ・サーチ検索ページのログイン画面が表示されます。使用方法是別紙「Chimera Search ユーザーガイド」をご覧ください。

5.3 インデックスサーバーの操作

キメラ・サーチのインデックスサーバーのサービス名は「osstech-chimera-estmaster」です。service コマンドにこのサービス名を指定することで、インデックスサーバーの操作が行うことができます。

5.3.1 サービスの起動・停止・状態表示

一般的なサービスと同様に、start, stop, restart, status サブコマンドが利用できます。

インデックスサーバーの操作例：

サービスの状態表示

```
# service osstech-chimera-estmaster status
/opt/osstech/etc/svscan/chimera-estmaster (pid プロセス ID) is running...
```

サービスの再起動

```
# service osstech-chimera-estmaster restart
Stopping /opt/osstech/etc/svscan/chimera-estmaster:      [ OK ]
Starting /opt/osstech/etc/svscan/chimera-estmaster:      [ OK ]
```

5.3.2 インデックスデータベースの管理

db サブコマンドを利用すると、インデックスサーバーが保持するインデックスデータベースの管理を行なえます。

インデックスサーバーの操作例：データベース名の一覧表示（通常は「chimera」のみ存在）

```
# service osstech-chimera-estmaster db list
chimera
```

何かしらの問題でデータベースに問題が生じ、インデックスサーバーが起動できない場合や検索結果に異常が見られる場合は、データベースの修復をお試ください。データベースを修復するには、事前にインデックスサーバーを停止しておく必要があります。

インデックスサーバーの操作例：サービスの停止

```
# service osstech-chimera-estmaster stop
Stopping /opt/osstech/etc/svscan/chimera-estmaster:      [ OK ]
```

データベースを修復する場合のコマンドは次のとおりです。

インデックスサーバーの操作例：データベースの修復

```
# service osstech-chimera-estmaster db repair chimera
```

通常の修復で問題が解決しない場合は、上記例に `-rst` オプションを追加して、より厳密な検査と修復を行います。データベース全体を検査するため、より多くの時間がかかります。

インデックスサーバーの操作例：データベースの修復（厳密な検査）

```
# service osstech-chimera-estmaster db repair chimera -rst
```

厳密な検査と修復によっても問題が解決しない場合は、残念ながらデータベースを破棄し、インデックスを作成しなおすことになります。データベースを破棄するコマンドは次のとおりです。

インデックスサーバーの操作例：データベースの破棄

```
# service osstech-chimera-estmaster db remove chimera
```

データベースを修復もしくは破棄した後は、起動するのを忘れないようにご注意ください。

インデックスサーバーの操作例：データベースの操作後の起動

```
# service osstech-chimera-estmaster start
Stopping /opt/osstech/etc/svscan/chimera-estmaster:      [ OK ]
```

6.更新履歴

- 2012-08-28 リビジョン 1.6
 - 「2.2.1 製品パッケージ」の修正
 - osstech-ruby-docs-1.8.7.334-9.0S.arch.rpm の削除
 - osstech-samba-client の追加
 - その他更新されているパッケージのバージョンを修正
 - 「2.2.2 依存パッケージ」に依存パッケージを追加
- 2012-07-19 リビジョン 1.5
 - キメラ・サーチ 0.10.14 対応
 - RHEL 4 の記述を削除
- 2009-10-09 リビジョン 1.4
 - キメラ・サーチ 0.10.7 対応
- 2009-09-28 リビジョン 1.3
 - キメラ・サーチ 0.10.6 対応
- 2009-01-28 リビジョン 1.2
 - 細かな改訂
- 2008-12-09 リビジョン 1.1
 - キメラ・サーチ 0.10.3 対応
 - DocuWorks Text Filter, DocCat について記述。
- 2008-10-03 リビジョン 1.0
 - 初版
 - キメラ・サーチ 0.10.0 対応